

様式③-1

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名
		道路改築事業	国道306号(潤田)
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班
	170080	道路建設課	道路建設班
			電話番号
			059-224-2630
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)	市町字名
	20	四日市 郡部 一般	菟野町 大字潤田
④事務事業名	道路改築事業		
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上		

2 事業の概要

事業の概要			
延長	580m	事業採択	2015年度
幅員	6.0(13.0)m	事業着工	2015年度
道路工	580m	事業完了	2018年度
歩道工	1,160m	供用開始	2018年度
車道舗装工	8,140m ²	全体計画事業費(億円)	3.690
側道橋	34.0m	全体計画工期(年数)	4年
用地補償	1式		
事業の目的			
当該工事は、平成30年度に新名神高速道路菟野IC(仮称)及び一般国道477号四日市湯ノ山道路潤田IC(仮称)のからの接続が予定されており、今後増加が予想する同インターチェンジへのアクセス交通量に対応する必要がある。よって、交差点部に付加車線(右折車線)を設置するとともに、通学路でもあるため歩道の整備も併せて行い、機能強化を図るものである。			

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成29年度	前回評価	
評価結果(優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2016年度までの事業進捗率 40.7%	2017年度完了までの事業進捗率	67.8%
		実施済み総事業費(億円)	2.5
事業進捗率の算定式[進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]			
道路工	290m	用地補償	1式
側道橋	34.0m		

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買取に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	